

意見募集対象 9事業案

部局名	事業案名	事業案概要	取組内容	県民投票数(順位)	想定事業費(万円)
1 政策企画部	三重で暮らし、働く魅力を伝える情報発信事業	進学等で三重県から転出した若者に戻ってほしい、人手不足の緩和につなげるため、移住や就職への関心がまだ高くない層(県内の高校生、県外大学の1・2年生や他県の人)を対象に、様々な媒体を活用して、三重で暮らし、働く魅力について情報発信します。	○三重で暮らし、働く魅力を伝える動画の作成及び広報 ・県内の高校生や県外大学に通う学生等の若者をターゲットにした三重で暮らし、働く魅力を伝えるショート動画を作成します。 ・作成した動画は、若者の関心が高いYouTube、Instagram等のSNSや、無関心層に対しても幅広く情報を発信することができる地下鉄デジタルメディア等で発信します。	380票(2位)	1,000
2 農林水産部	県内の農林水産業活性化のための県産物紹介事業	県内観光地の小売店や、県内で開催されるイベント等において、三重県の農林水産物やその加工品を扱うアンテナショップ・コーナーを設置し、県産農林水産物の魅力発信を図ります。	○県内観光地等におけるアンテナショップ・コーナーの設置 ・県内観光地の小売店やイベント等において、三重県の農林水産物やその加工品を扱う期間限定のアンテナショップ・コーナーを設置し、県産農林水産物の魅力を発信	428票(1位)	500
3 農林水産部	「みえの食」を活用した地域の魅力再創出事業	県内の若手料理人を対象に、県産食材を活用したレシピコンテストを実施し、県内飲食店における県産食材の利用促進を図る。 また、応募レシピや応募店舗の情報とともに県産食材の情報を一括してSNS等で配信することで、県民および本県を訪れる旅行者等に対して「みえの食」を訴求する。	○県産食材の活用促進 ・若手料理人(概ね35歳以下)を対象とした県産食材をメイン食材として活用したガストロノミーコンテストを開催 ○「みえの食」を核とした地域の魅力発信 ・ポータルサイトおよびSNSにおいて、入賞レシピや応募店舗、活用食材の情報等を発信	347票(3位)	500
4 雇用経済部	女性デジタル人材育成事業	・出産や子育てなどで離職中の女性や、キャリアアップや再就職を希望する人を対象に、デジタルスキルの習得を目指す研修を実施し、県内企業のDX推進や生産性向上につなげます。	○デジタルスキル習得に向けた研修の実施 ・デジタルスキル習得やモチベーション向上のための対面やオンラインによる講座を実施するとともに、専門家によるアドバイス、受講後の就労につながるキャリアカウンセリングや人材マッチングなどのフォローアップを実施します。	219票(4位)	1,200
5 教育委員会	多文化共生社会において活躍できるリーダー育成プロジェクト	今後、外国人労働者の更なる増加が見込まれる中、将来、高校生が事業所等で就労する際、外国人労働者をはじめ、価値観の異なる多様な人々と協働できる力を育成するとともに、外国人と日本人の橋渡し役を担える将来のリーダー人材育成の取組を行います。	外国人生徒を含む高校生約20名を募集し、次の「多文化共生社会において活躍できるリーダー育成プロジェクト」を行います。 ○県内での取組(海外研修の事前学習を含む) ・外国人労働者を雇用している県内企業を訪問し、経営者や外国人労働者からの講話・対話を通して、県内企業の現状(課題・効果等)や企業で求められる資質・能力等について学びます。 ・県内の高校に在籍する外国人生徒との意見交換により、多様な価値観や多様性を尊重することへの理解を進めます。 ○海外研修(東南アジア6日間を想定) ・海外の高校生と交流をとおして、英語や翻訳ツール等を用いたコミュニケーション力を高めます。 ・県内企業の海外事業所等の訪問や就労体験、ホームステイ等を通して、互いの文化の違いを認め合う社会づくり・企業づくりについて学習します。 ○海外研修後の取組 ・参加した生徒同士で、当プロジェクトにより気づいた点や学んだことについて意見交換し、地域社会との関わりやこれからの自己の生き方についての考えを深化させます。 ・当プロジェクトでの学びは、高校生の学習発表の場である「みえ探究フォーラム」(県教育委員会主催)にて発表するとともに、報告書にまとめ、他校の高校生への共有を図ります。	185票(6位)	900
6 教育委員会	学校での性暴力防止に関する理解促進事業	学校における教職員から児童生徒に対する性暴力を防止するため、有識者から教職員による児童生徒への性暴力の事例や実態等を学び、教職員向けのオンデマンド教材を作成、活用していくことで、性暴力のない学校づくりに向けた教職員の意識向上を促し、子どもたちにとっての安全安心な学校づくりをめざします。	○オンデマンド教材の作成 ・学校における性暴力に関する有識者と協働し、性暴力のメカニズム、学校での性暴力の実態、性暴力被害の現実や深刻さについてまとめた講義形式の教材を作成し、オンデマンド型研修(ネットDE研修)で教職員研修として活用します。	183票(7位)	100
7 警察本部	「交通社会に参加する子どもたちを守る」交通安全教育事業	増加傾向にある子ども(高校生を含む。)の交通事故のうち、その多くを占める自転車事故を防ぐため、自転車の安全な利用を促す効果的な動画を制作するとともに、WEB広告による配信を行います。	○自転車の安全利用・交通事故防止に関する動画の作成 ・WEB広告やテレビCM、デジタルサイネージで利用される短時間動画(15~30秒)により、自転車の交通ルール・乗車用ヘルメット着用促進のほか、自転車の交通反則通告制度(いわゆる青切符)の導入など、主に、中学生の観点から、自転車乗用時の交通事故防止を自分事として捉えられるよう、訴求力のある動画を作成します。 ○WEB広告における配信 ・上記動画を中学生の9割以上が利用するソーシャルメディア系サービスにおいて、三重県在住の中学生を対象にWEB広告による配信を行います。	216票(5位)	400
8 警察本部	知ってほしい! 性犯罪被害相談電話#8103(ハートさん)	・性犯罪被害相談電話#8103(ハートさん)の周知を図ることで、性被害に遭われた方が、一人で悩みを抱えることなく、相談につなげることが出来ます。 性犯罪被害相談電話は、相談者に安心感を与え、一日も早く元の生活に戻るために必要です。	○各種イベントにおける広報活動 ・親子が集まるイベントにおいて、啓発キャラクターを用いた啓発物品を配布するなどして広報活動を推進 ○動画による広報活動 ・啓発キャラクターを用いて子どもから大人まで覚えてもらいやすい動画を作成し、県民の目に触れる機会に放映する	153票(8位)	400
9 警察本部	学生防犯ボランティア支援事業	学生の防犯ボランティアへの参加促進、学生防犯ボランティア団体の活発化、活動の促進を図り、学生の情報発信力を生かした広報発信が行えるよう、学生防犯ボランティア団体を支援する事業を行います。	○学生に対する防犯ボランティアへの参加促進 ・県内の大学、短期大学等において広報啓発を実施し、防犯ボランティアへの参加を促す。 ・学生防犯ボランティア団体の活動を、県警公式X、YouTubeにて公開。 ○学生防犯ボランティアの活動支援及び育成 ・学生防犯ボランティア、防犯ボランティアに興味を持った学生との意見交流会や講習会(ワークショップ)を開催し、学生防犯ボランティアの育成を図る。 ・学生防犯ボランティア、学生防犯ボランティア団体に対して、活動物品等の交付を行い学生防犯ボランティアの活動を支援する。	97票(9位)	200